

平成 24 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ガーラ  
代 表 者 代表取締役グループ CEO 菊川 暁  
(コード番号 4777 JASDAQ)  
問 合 せ 先 国内子会社管理部門担当部長 藤田 公司  
(TEL 03-5778-0321 (代表))

## 継続企業の前提に関する事項の注記に関するお知らせ

当社及び連結子会社(以下「当社グループ」)は、平成 25 年 3 月期第 2 四半期決算短信及び四半期報告書における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

当社グループは、前連結会計年度において営業損失 100,933 千円及び当期純損失 512,967 千円を計上しております。また、当第 2 四半期連結累計期間においても売上高が前第 2 四半期連結累計期間に比べ 43.1%減の 1,332,230 千円となり、営業損失 406,976 千円及び四半期純損失 213,819 千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンゲーム事業のグローバル展開に当社グループの経営資源を集中させるため、組織体制の見直し及びグループの再編を実施してまいります。スマートフォンゲーム事業へ進出するため、平成 24 年 4 月に連結子会社(株)ガーラポケットを設立しスマートフォンゲームの提供を開始しており、平成 24 年 10 月に米国に Gala Innovative Inc.を設立しスマートフォンゲームの開発に着手いたしました。今後もゲームタイトルの増加による収益力の向上を図ってまいります。

また、グループ全体で組織体制の見直し及び大幅な人員削減を実施し、スリム化を図っております。今後も必要に応じて経営の効率化を図るため、組織体制及び人員配置の見直しを実施してまいります。

資金繰りにつきましては、当面の厳しい事業環境を乗り越えるべく、取引金融機関に対して引続き協議を進めてまいります。

以上の施策を実施するとともに、今後も引続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直しやグループの再編の実行可能性、営業活動の状況、環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

以上